

湯ノ丸山・烏帽子岳

【山行日】2014年6月29日(日)晴れ

【集合場所】小山市役所駐車場 AM5:00出発

【交通】車1台 【費用】2500円

【メンバー】CL:仙石、SL:高崎、大町、梶内、高木、
山田、塚原、前沢(8名)

【コースタイム】

小山市役所駐車場5:00＝佐野藤岡 IC＝小諸 IC＝

地蔵峠7:40～8:00—リフト上部—つつじ平8:30—

湯ノ丸山南峰9:45～10:00—鞍部10:20—

烏帽子岳への稜線11:05—烏帽子岳11:45～11:50—前烏帽子12:15～12:40—

鞍部13:00—地蔵峠14:00＝小諸 IC＝佐野藤岡 IC＝小山市役所



前日までの雨、朝方までは雨が残るものの、その後急速に回復するとの天気予報。不安は残るが出発することにする。トンネルを越えて佐久平に入っても、雲の中である。小諸 IC を出て、左折する。そして県道79号からセーブオンの信号で右折、嬌恋に抜ける県道94号に入り地蔵峠を目指す。1732mの地蔵峠まで、あっという間に上る。車はすごい。上るに従い雲が切れてくる。地蔵峠で車を降りると、抜けるような青空。その中に湯ノ丸スキー場のゲレンデ、向かいの籠ノ登山が青く輝いている。天気予報はすごい！！

身支度を調べていると、もっちゃんたちの会、宇都宮HC、山人の面々と次々と到着する。この時期の湯ノ丸はレンゲツツジがきれい、ほかにもたくさん高山植物が咲き、人気の山なのだ。今日は、相前後して歩くことになった。

まずは、スキー場ゲレンデ内を上る。リフトの右を大きく迂回して上るが、ゲレンデの傾斜は結構きつく、直登するように踏み跡がついており、すぐに足に来る。ところどころジグザクをきり、リフト1本分をクリアして、ベンチで一本立てる。

ここからしばらくはなだらかな道が続く。右手の柵の入り口から牧場に入ると、そこはつつじ平、レンゲツツジが今を盛りと咲き誇っている。レンゲツツジの中を縫うように歩き、オレンジ色の花を堪能する。見上げるとそれこそ真円い円頂の緑の山、湯ノ丸が青空に浮かぶ。



風見鶏と鐘のついた道標（鐘はうるさいらしく取り外されていた）を過ぎると、少し急な登りの登山道になる。一步一步上るけど結構つらい。時々立ち止まって振り向くと籠ノ登山、スキー場、雲の中に浅間山の影、そして北軽井沢と思われる緑の草原と村々。

Tさんなかなか足が上がらないようだ。山頂ももう少し、登りも緩やかになるが、ゆっくりと山頂を目指す。平らな石を敷き詰めたようになると、そこはもう湯ノ丸山の南峰だ。とりあえず栄養補給のアミノバイタルだ！？山頂からはこれから向かう烏帽子岳の稜線がたおやかに眺められる。

一息ついて、鞍部まで下る。結構な下りが待っている。登りは体力、下りは技術。片足で安定して立ち込む、その上で次の足場に移動する。そして立ち込む。この繰り返しをリズムカルに行うと、早く、安定して下れる。

鞍部から烏帽子の稜線にゆったりと上り返すと、タカネニガナ、ベニバナイチヤクソウ、グンナイフウロ、ミヤマピンボウゲ、ハクサンチドリ・・・。たくさんの花たちが迎えてくれる。ゆっくり楽しんでねといっているようでした。稜線にでる、展望を期待していましたが残念、北アルプス方面は雲の中でした。

残念ながらここでパーティを二つに、山頂組と、ゆっくり組。ゆっくり組は前烏帽子の昼食場所で待つことに。

山頂組6名は晴れていれば抜群の展望と思われる稜線を山頂に向けて最後の登り。2カ所の岩陰にコマクサが4~5株保護されている。白花もあり珍しい。稜線上にもかかわらずアヤメの群落も。山頂は岩のごつごつした小広い広場だ。Kさんは前回、前烏帽子までだったが、今日は余裕で山頂だ。展望もいまいちだし、お二人さんも待っているの、山頂の記念写真を撮り、そこそこに下山とする。

前烏帽子で合流、昼食。30分ほどゆっくり過ごし下山です。来た道を花たちに別れを告げながら鞍部まで戻る。鞍部からは、キャンプ場へのトラバース道に行く。1時間ひたすら歩くだけです。緑がきれいです。キャンプ場でおトイレを済ませて歩き出すと、雨です。私たちが歩いている間だけお天気だったようです。ありがとうございました。 仙石 記



		
ウメバチソウ	アカバナコバノイチヤクソウ	コケモモ
		
サラサドウダン	ハクサンチドリ	コマクサ
		
コマクサ (白花)	コイワカガミ	グンナイフウロ